

来週の「売り物記事」はこれ



2019年9月6日号

毎日新聞東京本社 編集編成局・販促宣伝部

「ピラミッドの謎」

Sストーリー 8日(日)



世界中に知られるギザの三大ピラミッド。建設から約4500年後の今も、建造方法や内部構造などは謎につつまれています。その実態に精密な三次元計測で迫ろうとするのが、エジプト考古学者の河江肖剰（かわえ・ゆきのり）名古屋大准教授です。産学連携チームを率いネットで資金調達しプロジェクトを進める「たたきあげ学者」。の平坦からはほど遠いその歩みをたどります。



変革 「マルハニチロ」

社会面 10日(火)から

時代の波にもまれる企業の姿を描く「変革」(全20回)がスタートします。第一回では、世界を舞台に漁業や水産物の買い付け・販売、缶詰など加工食品の製造を手がけるマルハ・ニチロに迫ります。乱獲による魚資源の減少や、海外需要の増加に伴う「買い負け」の深刻化など、事業環境が大きく変化する中で、新たな成長を模索する同社の姿を描きます。

朝鮮半島の地雷は今

夕刊特集ワイド 10日(火)

朝鮮半島を韓国と北朝鮮に隔てる軍事境界線一帯の非武装地帯は、世界的に見ても地雷の埋設密度が高く、除去が進まないエリアです。南北が融和に向かおうとする時、立ちはだかる課題の一つがこの地雷。対人地雷全面禁止条約の発効から3月で20年がたちました。NGO韓国対人地雷対策会議の協力を得て、現地を視察した地雷廃絶日本キャンペーンの一行に記者が同行しました。現地からの報告です。

「精神障害者の就労パスポート」

社会保障面 11日(水)

民間企業で働いている精神疾患のある障害者は約6万7000人で、年々増えていますが、一方ですぐに離職してしまう「ミスマッチ」も問題になっています。そこで厚生労働省は、障害の特性や、本人が得意なことと苦手なこと、働くのにどんな配慮が必要か、などの情報を一冊にまとめた「就労パスポート」を今年度中に発行する予定です。外見ではどんな病気か分かりにくく、偏見も根強い精神障害の理解を進める助けになることも期待されます。

デジカメやスマホの写真 整理術

くらしナビ面 12日(木)

夏の旅行や帰省で撮った写真が、デジタルカメラやスマートフォンに保存されたままになっていないでしょうか。整理されていない写真は見返すのが面倒なものです。データ消失に備えてバックアップもしておくとお安心です。写真の整理方法を指南するウェブサイトを運営している中村愛子さんにアドバイスしてもらいます。



論点「進むかキャッシュレス化」

オピニオン面 13日(金)



10月の消費税増税に併せた経済対策として、クレジットカードや電子マネーを利用したキャッシュレス決済に対するポイント還元制度が始まります。狙いは「キャッシュレス化」の拡大です。政府は2025年の大阪・関西万博までにキャッシュレス決済比率を40%まで引き上げ、最終的には80%にする目標を掲げています。しかし、先進国の中ではいまだに現金文化が根強く残る日本。キャッシュレス化は一気に進むのでしょうか。

諫早湾干拓事業請求異議訴訟・最高裁判決

社会面 14日(土)

長崎県の諫早湾干拓事業を巡り、潮受け堤防排水門の開門調査を命じた確定判決の無効化を求めて国が起こした請求異議訴訟の上告審判決が、最高裁で言い渡されます。諫早湾干拓を巡る一連の訴訟で、最高裁が判決を言い渡すのは初めてで、長年続いてきた法廷闘争の行方に大きな影響を与える可能性があります。判決の意義や、これからの見通しなどを伝えます。



クリーニング業者も学ぶ染み抜き技

くらしナビ面 14日(土)



ワイシャツの襟の黄ばみや靴下の黒ずみ、食べこぼしの染み……。お気に入りの衣類でも、落ちない汚れが付くと着るのをちゅうちょしてしまうもの。クリーニングに出しても消えない染みもあります。そんな中、クリーニング業者が学びに集う染み抜き技の教室があります。記者が訪れ、家庭でできる染み抜き技の方法も教わりました。

※ 都合によっては内容が変更することがあります。